

第 3 回火葬等許可事務システム標準化検討会資料

2023年8月29日

背景と目的

令和元年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」等において地方自治体行政の様々な分野で、業務プロセスやシステムの標準化等による業務効率化を進めることとされたことを受け、**地方公共団体情報システムの標準化に関する法律**（令和3年法律第40号）（以下「標準化法」という。）**が定められたところ**、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（令和3年12月24日閣議決定）において「市町村の戸籍システムについては、既存の標準仕様書と、標準化基準における共通事項との整合性を確保することとし、そのために標準仕様書の見直しが必要な場合には、令和4年（2022年）夏までに行う。」とされ、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第二条第一項に規定する標準化対象事務を定める政令（令和4年政令第1号）により、**戸籍に関する事務が標準化対象事務**とされた。

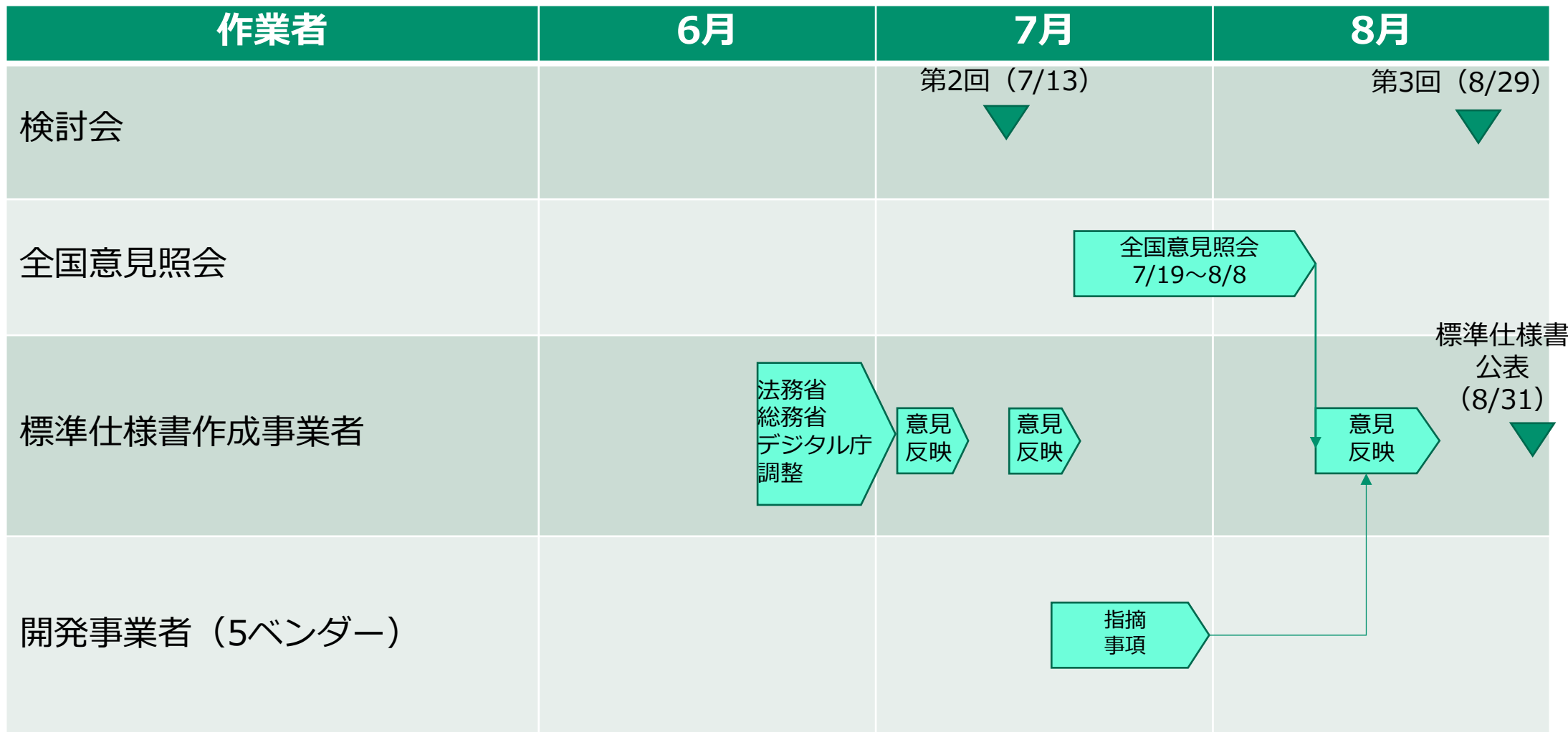
また、人口動態調査令（昭和21年9月30日勅令第447号）に基づき実施している人口動態調査における、市区町村で調査票を作成するためのシステムである人口動態調査事務システムについても、実態として多くの市区町村において、戸籍情報システムとパッケージシステムとして開発され、導入されてきている。このため、戸籍情報システムとパッケージシステムとして運用することが可能となるよう、**令和5年3月29日に地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第二条第一項に規定する標準化対象事務を定める政令（令和4年政令第1号）（以下「標準化政令」という。）の一部改正により、人口動態調査事務についても標準化対象事務とされた。**

さらに、**火葬等許可事務システム**についても、戸籍情報システム及び人口動態調査事務システムとパッケージシステムとして開発され、導入されていることから、引き続きパッケージシステムとして運用し、地方公共団体の行政運営の効率化と住民の利便性の向上を図るため、**標準化政令の上記一部改正の際に、火葬等許可事務についても標準化対象事務とされた。**

上記を踏まえ、火葬等許可事務に係るシステムや業務プロセスの標準化について、**標準化法のもとに示された政府方針等との整合性を図りながら議論を行い、火葬等許可事務システムの標準仕様書を作成する。**

標準仕様書作成スケジュール

7月19日～8月8日の3週間で全国意見照会を実施しました。
 全国意見照会の結果と開発ベンダーからの指摘実行を標準仕様書（案）に反映しています。
 8月31日に標準仕様書【第1.0版】を公表の予定です



標準仕様書（案）の作成方針- 1

標準仕様書（案）の記載内容は、標準化の標準仕様書及び、厚生労働省の国民年金や生活保護など他の標準化業務の記載項目に準拠し、以下の構成としています（参考資料 1 参照）。

記載項目	記載内容	インプット情報
第 1 章 本仕様書について	標準仕様書の前提について記載する。	
第 2 章 業務フロー	業務フローの記載方針について記載する。	
第 3 章 機能・帳票要件	機能要件、帳票要件の記載方針について記載する。	
第 4 章 データ要件・連携要件	データ要件、連携要件の記載方針について記載する。	
第 5 章 非機能要件	非機能要件について記載する。	
第 6 章 用語	用語集について記載する。	
（別紙 1）業務フロー	業務フローの詳細について記載する。	自治体アンケート
（別紙 2 - 1）機能・帳票要件	機能要件、帳票要件について記載する。	開発事業者アンケート
（別紙 2 - 2）管理項目	管理項目の一覧について記載する。	開発事業者アンケート
（別紙 3）帳票詳細要件	帳票詳細要件について記載する。	開発事業者アンケート
（別紙 4）帳票レイアウト	帳票レイアウトについて記載する。	開発事業者アンケート

標準仕様書（案）の作成方針- 2

第1回火葬等許可事務システム標準化検討会以降に標準仕様書を追加・修正した場合には、火葬等許可事務システム標準仕様書修正履歴に追加・修正内容を記載しています（参考資料2参照）。

火葬等許可事務システム標準仕様書修正履歴（一部抜粋）

火葬等許可事務システム標準仕様書修正履歴

NO.	区分	修正箇所	修正内容	修正日
1	別紙1	1.4. 火葬等許可証再発行フロー	<ul style="list-style-type: none"> ・業務フローの開始変更 住民側→市区町村側 ・トリガー変更 「口頭、電話等での申し出」→「証明書」、「紛失証明書」（各証明書の補足説明も追加） ・火葬執行前、執行後かの分岐を追加 ・「交付台帳の確認」タスク（手作業）追加 ・「紛失証明書の受領」タスク（手作業）追加 ・「証明書の受領」タスク（手作業）追加 ・市区町村側の火葬等許可証の補足説明修正 「発行済みであると判別可能であること」→「再発行であると判別可能であること」 	2023/3/17
2	別紙2-1	機能ID：1.6.6. 「EUC機能」要件の考え方・理由	「証明書」→「許可証」に修正	2023/3/17
3	別紙2-1	機能ID：1.7.8. 「印刷設定」機能要件	「印刷時は最低限の機能として」→「印刷時の」に修正	2023/3/17
4	別紙2-1	機能ID：2.5.5. 「一覧」機能要件	「埋葬状況報告書、火葬状況報告書」→「交付台帳」に修正 要件の考え方・理由→削除	2023/3/17
5	別紙2-1	機能ID：3.5.1. 「許可証検索結果」機能要件	「父母の本籍」→「父の本籍、母の本籍」に修正	2023/3/17

標準仕様書（案）の検討内容

1. 標準仕様書間の横並び調整方針（令和5年6月16日改定）に従い、標準仕様書（案）に追加・修正が必要な内容を反映する。
2. 第1回検討会以降に寄せられた照会を踏まえて、標準仕様書（案）に追加・修正が必要な内容を反映する。
3. 全国意見照会に対する意見等を踏まえ、標準仕様書（案）に追加・修正が必要な内容を反映する。

全国意見照会に対する意見の件数

全国意見照会の結果は、以下のとおり。

No.	意見の分類	標準仕様書修正	
		有	無
1	標準化（制度）	0	1
2	標準化（移行）	0	7
3	標準化（基準日）	0	1
4	標準化（非機能）	0	2
5	標準化（補助金）	0	3
6	標準化（その他）	0	1 1
7	運用（業務フロー）	0	7
8	運用（権限）	0	2
9	運用（交付）	0	4
1 0	運用（システム利用）	0	2 3
1 1	運用（申請書）	0	1
1 2	運用（保存）	0	2
1 3	機能（セキュリティ）	1	0

No.	意見の分類	標準仕様書修正	
		有	無
1 4	機能（EUC）	0	4
1 5	機能（文字）	0	1
1 6	機能（連携）	1	3 1
1 7	機能（公印）	0	7
1 8	機能（印刷）	1	4
1 9	機能（削除）	0	2
2 0	機能（記載）	1 0（5）	3 5
2 1	機能（帳票レイアウト）	1 5（5）	7 5
2 2	機能（許可証作成）	2	3 3
2 3	機能（要望）	0	1 4
2 4	標準仕様書（誤植）	2 0（6）	0
	計	5 0（2 1）	2 7 0
	（88団体）合計		3 2 0

※（）内の数字は、重複の意見を除いた件数

標準仕様書の修正箇所（概要） - 1

No.	意見の分類	内容
1	機能（セキュリティ）	アカウントのロックについて、認証の失敗回数は任意設定とする要件を追加する。
2	機能（連携）	他システムとの連携について、申請者の氏名、申請者の住所を連携対象に追加する。
3	機能（印刷）	発行年月日について、初期値としてシステム日付を設定する要件を追加する。
4	機能（記載）	許可証作成において、内容が不明な場合があることから、「不詳」等の入力要件を追加する。
5	機能（記載）	「分べん年月日時」等が推定の場合も入力できるように要件を追加する。
6	機能（記載）	死亡者の氏名等について、外国人である場合を考慮した編集条件に修正する。
7	機能（記載）	嫡出でない子について、編集条件を追加する。
8	機能（記載）	胎児の改葬に対応できるように改葬許可証を修正する。
9	機能（帳票レイアウト）	改葬許可証について、複数名の改葬に対応できるように改葬許可証別紙を追加する。
10	機能（帳票レイアウト）	死胎埋火葬許可証、死胎埋火葬許可申請書について、父母の住所が別の場合の編集条件を追加する。
11	機能（帳票レイアウト）	死体埋火葬許可申請書、死胎埋火葬許可申請書の市区町村長の氏名+「様」を市区町村長の氏名+「宛」に修正する。

標準仕様書の修正箇所（概要） - 2

No.	意見の分類	内容
1 2	機能（帳票レイアウト）	許可証と許可申請書のレイアウトが似ているため、誤交付の可能性があることから、許可申請書のレイアウトを変更する。
1 3	機能（帳票レイアウト）	火葬許可証の帳票詳細要件の項目「火葬時間」を「火葬を行った日時」に変更する。
1 4	機能（許可証作成）	許可証内の検索要件に「住所」を追加する。
1 5	機能（許可証作成）	他システムからの連携において、身元不明者などの情報は取込めないため、許可証の作成を任意で入力、修正ができるように要件を追加する。
1 6	標準仕様書（誤植）	本編 第6章用語「デジタル・ガバメント【でじたる・がばなんと】」を「デジタル・ガバメント【でじたる・がばめんと】」に修正する。
1 7	標準仕様書（誤植）	本編のシステム印字項目の編集方法と（別紙4）帳票レイアウトの印字内容の整合を合わせるため、本編のシステム印字項目を修正する。
1 8	標準仕様書（誤植）	（別紙4）帳票レイアウト上の数字を全角数字に統一する。
1 9	標準仕様書（誤植）	（別紙2-1）機能・帳票要件2.4.3「機能要件」欄の※1と※2の記載内容が重複しているため、※2の記載内容を削除するとともに、2.4.2の要件と統合する。
2 0	標準仕様書（誤植）	業務フローのタイトルを「区分」「大項目」「小項目」に統一する。
2 1	標準仕様書（誤植）	（別紙1）業務フローの「1.4.火葬等許可証の再交付」において、「再交付」と「再発行」の表記が混在していることから、「再交付」に統一する。
—	その他	他システムとの連携の戸籍情報の参照について削除する。

標準仕様書の修正箇所（機能ID） - 1

（別紙2-1）機能・帳票要件の修正により、機能IDは以下のように変わっています。

全国意見照会時点の 機能ID	現在の機能ID	説明
0390001	—	削除
0390002～0390017	0390001～0390016	機能IDを振り直し
—	0390017	追加
0390018～0390022	0390018～0390022	変更なし
0390023～0390024	—	削除
0390025～0390026	0390023～0390024	機能IDを振り直し
0390027～0390029	—	削除
0390030～0390031	0390025～0390026	機能IDを振り直し
—	0390027	追加
0390032～0390035	0390028～0390031	機能IDを振り直し
—	0390032	追加
0390036～0390054	0390033～0390051	機能IDを振り直し
0390055	0390054	機能IDを振り直し
0390056	0390032	0390032に統合
0390057～0390058	0390052～0390053	機能IDを振り直し
0390059	0390055	機能IDを振り直し
0390060	0390032	0390032に統合
0390061～0390064	0390056～0390059	機能IDを振り直し

標準仕様書の修正箇所（機能ID） - 2

全国意見照会時点の機能ID	現在の機能ID	説明
0390065	0390027	0390027に統合
0390066	0390060	機能IDを振り直し
0390067	0390032	0390032に統合
0390068～0390070	0390061～0390063	機能IDを振り直し
0390071	0390032	0390032に統合
0390072～0390075	0390064～0390067	機能IDを振り直し
0390076	0390067	0390067に統合
0390077	0390027	0390027に統合
0390078～0390079	0390068～0390069	機能IDを振り直し
—	0390070～0390071	追加
0390080～0390085	0390072～0390077	機能IDを振り直し
0390086	0390027	0390027に統合

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
1	本編p26 アカウントロック ・複数回の認証失敗とありますが、回数は任意で設定できるのですか。 ・設定不可の場合、何回でロックがかかりますか。	【回答】 回数は任意で設定できるよう標準仕様書を修正する。 【方針】 (別紙2-1) 機能ID : 0390050に、回数は自治体の運用に合わせて任意で設定することを追加する。	(別紙2-1) 機能・帳票要件 機能ID : 0390050 (実装必須機能) (旧機能ID : 0390053) ・他の職員が許可証の作成を行っている間は、同一許可証の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。 ・なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。 ・ID パスワードによる認証に加え、IC カードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。 ・複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。 ※1 認証の失敗回数は自治体の運用に合わせて任意で設定する。

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 2

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
2	<p>(別紙2-2) 管理項目 火葬等許可事務共通 表中「他システムからの連携有無」の●の意味について次のように質問します。 申請者の氏名・申請者の住所には●の記載がありませんが、「別紙2-1火葬等許可事務システム機能・帳票要件」の「機能ID0390023」欄において「許可証に記載する、死亡者・申請者情報について、氏名の振り仮名、漢字氏名、生年月日、世帯番号、宛名番号で住民票検索できること」と記載があるので、他システムとの連携はあると思い●が記載されたと考えたのですが何か違う意味での●印でしょうか。</p>	<p>【回答】 ご認識の通りです。申請者の氏名、申請者の住所について、連携対象に追加する。</p> <p>【方針】 (別紙2-2) 管理項目において、「申請者の氏名」「申請者の住所」を連携対象に追加する。</p> <p>※併せて、(別紙2-2) 管理項目における他システムとの連携を連携先のシステム毎に分けての記載に変更する。</p>	<p>(別紙2-2) 管理項目 1.1.死体火葬 1.2.死体埋葬 1.3.死胎火葬 1.4.死胎埋葬 1.5.改葬</p>

App) 別紙 2-2管理項目 (1.1.死体火葬)

1. 1. 死体火葬

管理項目	戸籍情報システムからの連携有無 (届書情報)	住民記録システムからの連携有無
死体火葬許可管理番号		
死亡者本籍	●	●
死亡者住所	●	●
死亡者氏名	●	●
死亡者氏名の振り仮名	●	
性別	●	●
生年月日	●	●
死因		
死亡年月日時	●	●
死亡の場所	●	
火葬の場所		
申請者の氏名	●	●
申請者の住所	●	●
死亡者との続柄		
交付日		

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 3

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
3	(別紙2-1) 機能・帳票要件 機能ID : 0390035 「帳票の発行年月日は任意で設定し、出力できること ※発行年月日が未入力・未設定の場合は、発行年月日を印字しないこと」とありますが、「… (前略) … ※発行日は初期値として当日が設定されている」の方が使い勝手がいいように思います。	【回答】 発行年月日の初期値を設定する要件を追加する。 【方針】 (別紙2-1) 機能ID : 0390035に発行年月日の初期値としてシステム日付を設定する要件を追加する。	(別紙2-1) 機能・帳票要件 機能ID : 0390035 (実装必須機能) 帳票の発行年月日は任意で設定し、出力できること。 ※1 初期値としてシステム日付を設定すること。 ※2 発行年月日が未入力場合は、発行年月日を印字しないこと。

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 4

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
4	<p>墓に埋蔵等してから5年を越えて月日が経過した後に改葬する場合、死亡者名や火葬年月日等の内容が不明であることが考えられるため、火葬等許可事務システムに「不詳」と入力し、改葬許可証を発行できるようにしてください。</p>	<p>【回答】 不明の場合、「不詳」等と入力できるように機能を追加します。</p> <p>【方針】 「不詳」等の文字入力が可能な旨、（別紙2-1）機能・帳票要件に追加する。</p>	<p>（別紙2-1）機能・帳票要件 機能ID：0390052（実装必須機能） （旧機能ID:0390057） 以下の許可証情報を管理できること。</p> <p>【管理項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死体埋葬許可管理番号 ・死体火葬許可管理番号 ・死亡者本籍 ・死亡者住所 ・死亡者氏名 ・死亡者氏名の振り仮名 ・性別 ・生年月日 ・死因 ・死亡年月日時 ・死亡の場所 ・埋葬の場所 ・火葬の場所 ・申請者の氏名 ・申請者の住所 ・死亡者との続柄 ・交付日 <p>※1 死亡者本籍、死亡者住所、死亡者氏名、死亡者氏名の振り仮名、性別、生年月日、死亡年月日時、死亡の場所、申請者の住所について、不詳の場合は「不詳」等と入力する。</p>

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 5

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
4	<p>墓に埋蔵等してから5年を越えて月日が経過した後に改葬する場合、死亡者名や火葬年月日等の内容が不明であることが考えられるため、火葬等許可事務システムに「不詳」と入力し、改葬許可証を発行できるようにしてください。</p>	<p>【回答】 不明の場合、「不詳」等と入力できるように機能を追加します。</p> <p>【方針】 「不詳」等の文字入力が可能な旨、(別紙2-1) 機能・帳票要件に追加する。</p>	<p>機能ID : 0390061 (実装必須機能) (旧機能ID:0390068) 以下の許可証情報を管理できること。</p> <p>【管理項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死胎埋葬許可管理番号 ・死胎火葬許可管理番号 ・父の本籍 ・母の本籍 ・父の住所 ・母の住所 ・父の氏名 ・母の氏名 ・性別 ・妊娠週数 ・分べん年月日時 ・分べんの場所 ・埋葬の場所 ・火葬の場所 ・申請者の氏名 ・申請者の住所 ・交付日 <p>※1 父の本籍、母の本籍、父の住所、母の住所、父の氏名、母の氏名、性別、妊娠週数、分べん年月日時、分べんの場所について、不詳の場合は「不詳」等と入力する。</p>

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 6

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
4	<p>墓に埋蔵等してから5年を越えて月日が経過した後に改葬する場合、死亡者名や火葬年月日等の内容が不明であることが考えられるため、火葬等許可事務システムに「不詳」と入力し、改葬許可証を発行できるようにしてください。</p>	<p>【回答】 不明の場合、「不詳」等と入力できるように機能を追加します。</p> <p>【方針】 「不詳」等の文字入力が可能な旨、(別紙2-1) 機能・帳票要件に追加する。</p>	<p>機能ID：0390069（標準オプション機能） （旧機能ID：0390079） 以下の許可証情報を管理できること。</p> <p>【管理項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改葬許可管理番号 ・行番号 ・死亡者本籍 ・死亡者住所 ・死亡者氏名 ・性別 ・死亡年月日 ・埋葬又は火葬の場所 ・埋葬又は火葬の年月日 ・改葬の理由 ・改葬の場所 ・申請者の氏名 ・申請者の住所 ・死亡者との続柄 ・墓地使用者との関係 ・交付日 <p>※1 死亡者本籍、死亡者住所、死亡者氏名、性別、死亡年月日、埋葬又は火葬の場所、埋葬又は火葬の年月日について、不詳の場合は「不詳」等と入力する。</p>

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 7

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
5	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 分べん年月日時について、推定であった場合も対応可能な仕様か。</p>	<p>【回答】 分べん年月日時が推定の場合も入力できるように要件を追加する。</p> <p>【方針】 その他の帳票の各年月日等も含め、(別紙3) 帳票詳細要件に推定の場合も入力できるように要件を追加する。</p>	<p>(別紙3) 帳票詳細要件</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1.死体火葬許可証 1.2.死胎火葬許可証 1.3.死体火葬許可申請書 1.4.死胎火葬許可申請書 2.1.死体埋葬許可証 2.2.死胎埋葬許可証 2.3.死体埋葬許可申請書 2.4.死胎埋葬許可申請書 3.1.改葬許可証 3.2.改葬許可証別紙

App) 別紙3 帳票詳細要件 (1.2.死胎火葬許可証)

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)

業務	1. 火葬許可証	帳票名称			1. 2. 死胎火葬許可証
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死胎火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	父母の本籍	●			父母の本籍が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の本籍+改行+ "母"+全角スペース+母の本籍 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の本籍」 外国籍の場合は国名を印字する。
5	父母の住所	●			父母の住所が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の住所+改行+ "母"+全角スペース+母の住所 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の住所」 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	父母の氏名	●			嫡出の場合 "父"+全角スペース+父氏名+改行+"母"+全角スペース+母氏名 嫡出でない場合 「母氏名」
7	死児の性別	●			
8	妊娠週数	●			全角数字+"週" 推定の場合は"推定"と印字する。
9	分べん年月日時	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 時刻は「午前/午後表記(午前/午後時分)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
10	分べんの場所	●			
11	火葬の場所	●			
12	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
13	申請者の氏名	●			
14	交付日	●			和暦表記(年月日)
15	再交付日		●		和暦表記(年月日)
16	市区町村名	●			市区町村名+"長"
17	市区町村長名	●			氏 全角スペース 名
18	公印	●			公印イメージ
19	火葬を行った日時	●			"令和 年 月 日 午前・午後 時 分 火葬"

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 8

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
6	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 死亡者氏名について、外国人の場合、氏・名の上にスペースを入れるのではなく、住民票（在留カード）の記載どおりの区切りでスペースを入れられるようにしてください。また、氏名が長い外国人（スリランカ人等）については、文字数の制限なくすべて記載ができるようにしてください。</p>	<p>【回答】 外国人の場合を考慮した編集条件に修正する。</p> <p>【方針】 (別紙3) 帳票詳細要件の「氏名」の編集条件「氏+全角スペース+名」を削除する。</p> <p>父母の氏名の編集条件は、「"父"+全角スペース+父の氏+全角スペース+父の名+改行+"母"+全角スペース+母の氏+全角スペース+母の名」を 「"父"+全角スペース+父氏名+改行+"母"+全角スペース+母氏名」に変更する。</p>	<p>(別紙3) 帳票詳細要件</p> <p>1.1.死体火葬許可証 1.2.死胎火葬許可証 1.3.死体火葬許可申請書 1.4.死胎火葬許可申請書 2.1.死体埋葬許可証 2.2.死胎埋葬許可証 2.3.死体埋葬許可申請書 2.4.死胎埋葬許可申請書 3.1.改葬許可証 3.2.改葬許可証別紙</p>
7	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 嫡出でない子は死産届の父欄空欄につき、父の本籍、住所、氏名が空欄でも作成できること。</p>	<p>【回答】嫡出でない子について、編集条件を追加する。</p> <p>【方針】 (別紙3) 帳票詳細要件に、嫡出でない場合における父母の本籍、父母の住所、父母の氏名の編集条件を追加する。</p>	

App) 別紙3 帳票詳細要件 (1.1.死体火葬許可証)

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)

業務	1. 火葬許可証	帳票名称			1.1. 死体火葬許可証
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死体火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名を印字する。
5	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名	●			
7	死亡者の性別	●			
8	死亡者の出生年月日	●			和暦表記(年月日) 外国籍の場合は西暦表記(年月日) 推定の場合は"推定"と印字する。
9	死因	●			
10	死亡年月日時	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 時刻は「午前/午後表記(午前/午後時分)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
11	死亡の場所	●			
12	火葬の場所	●			
13	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
14	申請者の氏名	●			
15	死亡者との続柄	●			
16	交付日	●			和暦表記(年月日)
17	再交付日		●		和暦表記(年月日)
18	市区町村名	●			市区町村名+"長"
19	市区町村長名	●			氏+全角スペース+名
20	公印	●			公印イメージ
21	固定文言1	●			"(注) 死因欄中第1条第4号に規定する感染症の際は「一類感染症等」に○印を付すること。" 改行 "そうでないときは「その他」に○印を付すること。"
22	火葬を行った日時	●			"令和 年 月 日 午前・午後 時 分 火葬"

App) 別紙3 帳票詳細要件 (1.2.死胎火葬許可証)

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)

業務	1. 火葬許可証	帳票名称			1. 2. 死胎火葬許可証
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死胎火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	父母の本籍	●			父母の本籍が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の本籍+改行+ "母"+全角スペース+母の本籍 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の本籍」 外国籍の場合は国名を印字する。
5	父母の住所	●			父母の住所が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の住所+改行+ "母"+全角スペース+母の住所 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の住所」 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	父母の氏名	●			嫡出の場合 "父"+全角スペース+父氏名+改行+"母"+全角スペース+母氏名 嫡出でない場合 「母氏名」
7	死児の性別	●			
8	妊娠週数	●			全角数字+"週" 推定の場合は"推定"と印字する。
9	分べん年月日時	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 時刻は「午前/午後表記(午前/午後時分)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
10	分べんの場所	●			
11	火葬の場所	●			
12	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
13	申請者の氏名	●			
14	交付日	●			和暦表記(年月日)
15	再交付日		●		和暦表記(年月日)
16	市区町村名	●			市区町村名+"長"
17	市区町村長名	●			氏 全角スペース 名
18	公印	●			公印イメージ
19	火葬を行った日時	●			"令和 年 月 日 午前・午後 時 分 火葬"

App) 別紙3 帳票詳細要件 (3.1.改葬許可証)

帳票詳細要件 (3. 改葬許可証)

業務	3. 改葬許可証	帳票名称	3.1. 改葬許可証		
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"改葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合は□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍 (死産の場合は、父母の本籍)	●			死亡の場合 外国籍の場合は国名を印字する。 死産の場合 父母の本籍が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の本籍+改行+ "母"+全角スペース+母の本籍 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の本籍」 外国籍の場合は国名を印字する。
5	死亡者の住所 (死産の場合は、父母の住所)	●			死亡の場合 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース 死産の場合 父母の住所が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の住所+改行+ "母"+全角スペース+母の住所 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の住所」 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名 (死産の場合は、父母の氏名)	●			死産の場合 嫡出の場合は二行で印字する。 "父"+全角スペース+父氏名+改行+"母"+全角スペース+母氏名 嫡出でない場合は一行で印字する。 「母氏名」
7	死亡者の性別 (死産の場合は、死児の性別)	●			
8	死亡年月日 (死産の場合は、分べん年月日)	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
9	埋葬又は火葬の場所	●			
10	埋葬又は火葬の年月日	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
11	改葬の理由	●			
12	改葬の場所	●			
13	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
14	申請者の氏名	●			
15	死亡者との続柄 (死産の場合は、空欄)	●			死産の場合は、空欄とする。
16	墓地使用者等との関係	●			
17	交付日	●			和暦表記(年月日)
18	再交付日		●		和暦表記(年月日)
19	市区町村名	●			市区町村名+"長"
20	市区町村長名	●			氏+全角スペース+名
21	公印	●			公印イメージ

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 9

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
8	(別紙3) 帳票詳細要件3.1.改葬許可証について (2) 胎児の改葬の場合、死亡者の本籍、住所、氏名には死産児の父母の本籍、父母の住所、父母の氏名が入力できること。	【回答】 胎児の改葬に対応できるように修正する。 【方針】 (別紙3) 3.1.改葬許可証、(別紙4) 3.1.改葬許可証を修正する。	(別紙3) 3.1.改葬許可証 (別紙4) 3.1.改葬許可証

App) 別紙3 帳票詳細要件 (3.1.改葬許可証)

帳票詳細要件 (3. 改葬許可証)

業務	3. 改葬許可証	帳票名称	3.1. 改葬許可証		
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			“改葬許可証”
2	発行番号	●			“第”+全角スペース+全角数字+全角スペース+“号”
3	再交付印		●		再交付の場合は□囲いで“再交付”と印字する。
4	死亡者の本籍 (死産の場合は、父母の本籍)	●			死亡の場合 外国籍の場合は国名を印字する 死産の場合 父母の本籍が別の場合二行で印字する。 “父”+全角スペース+父の本籍+改行+ “母”+全角スペース+母の本籍 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の本籍」 外国籍の場合は国名を印字する
5	死亡者の住所 (死産の場合は、父母の住所)	●			死亡の場合 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース 死産の場合 父母の住所が別の場合二行で印字する。 “父”+全角スペース+父の住所+改行+ “母”+全角スペース+母の住所 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の住所」 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名 (死産の場合は、父母の氏名)	●			死産の場合 嫡出の場合は二行で印字する。 “父”+全角スペース+父氏名+改行+“母”+全角スペース+母氏名 嫡出でない場合は一行で印字する。 「母氏名」
7	死亡者の性別 (死産の場合は、死児の性別)	●			
8	死亡年月日 (死産の場合は、分べん年月日)	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 推定の場合は“推定”と印字する。
9	埋葬又は火葬の場所	●			
10	埋葬又は火葬の年月日	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 推定の場合は“推定”と印字する。
11	改葬の理由	●			
12	改葬の場所	●			
13	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
14	申請者の氏名	●			
15	死亡者との続柄 (死産の場合は、空欄)	●			死産の場合は、空欄とする。
16	墓地使用者等との関係	●			
17	交付日	●			和暦表記(年月日)
18	再交付日		●		和暦表記(年月日)
19	市区町村名	●			市区町村名+“長”
20	市区町村長名	●			氏+全角スペース+名
21	公印	●			公印イメージ

App) 別紙4 帳票レイアウト (3.1.改葬許可証)

改葬許可証		※再交付の 場合のみ印	再交付
第 000001 号			
死亡者の本籍 (死産の場合は、父母の本籍)	東京都大和区中央一丁目1番		
死亡者の住所 (死産の場合は、父母の住所)	東京都大和区中央一丁目1番16号		
死亡者の氏名 (死産の場合は、父母の氏名)	許可 太郎		
死亡者の性別 (死産の場合は、死児の性別)	男		
死亡年月日 (死産の場合は、分べん年月日)	昭和45年3月10日		
埋葬又は火葬の場所	大和斎場 東京都大和区寺町一丁目1番地		
埋葬又は火葬の年月日	昭和45年5月1日		
改葬の理由	墓地新設のため		
改葬の場所	大和区新浜霊堂 東京都大和区新浜12番地1		
申請者の住所、氏名、死亡者との 続柄及び墓地使用者等 との関係 (死産の場合は、申請者の住所、 氏名及び墓地使用者等 との関係)	住所	東京都大和区中央一丁目1番16号	
	氏名	許可 花子	
	死亡者との続柄 (死産の場合は、 空欄)	妻	
	墓地使用者 等との関係	本人	
交付日：令和5年3月1日 再交付日：令和5年3月2日	※再交付の 場合のみ印字	東京都大和区長	甲野 義太郎
			印

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1 0

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
9	<p>(別紙4) 帳票レイアウト 改葬許可証について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死亡者の氏名や性別等の項目の記載について、複数の死亡者を改葬する場合は、複数の死亡者の氏名や性別等を列記することを想定しているか。 	<p>【回答】 複数の死亡者を列記できるよう、帳票を追加する。</p> <p>【方針】 (別紙2-1) 機能・帳票要件に改葬許可証別紙の作成について新規追加する。</p> <p>(別紙2-2) 管理項目に複数の死亡者を管理するために「行番号」を追加する。</p> <p>(別紙3) 帳票詳細要件、(別紙4) 帳票レイアウトに「改葬許可証別紙」の帳票詳細要件、帳票レイアウトを新規追加する。</p> <p>※併せて、改葬許可証の作成について、機能ID：0390016から分割し、新たな機能IDを設ける。(標準オプション機能とするため)</p>	<p>(別紙2-1) 機能・帳票要件 機能ID：0390070 (標準オプション機能) 改葬許可証が作成できること。</p> <p>機能ID：0390071 (標準オプション機能) 改葬許可証別紙が作成できること。</p> <p>※1 複数の死体・死胎・焼骨を同時に改葬する場合、改葬許可証別紙を使用すること。 ※2 同時に改葬する人数に合わせて、複数枚出力できること。</p> <p>(別紙2-2) 管理項目 1.5.改葬</p> <p>(別紙3) 帳票詳細要件 3.2.改葬許可証別紙</p> <p>(別紙4) 帳票レイアウト 3.2.改葬許可証別紙</p>

App) 別紙2-2 管理項目 (1.5.改葬)

1.5. 改葬

管理項目	住民記録システムからの連携有無
改葬許可管理番号	
行番号	
死亡者本籍	●
死亡者住所	●
死亡者氏名	●
性別	●
死亡年月日	●
埋葬又は火葬の場所	
埋葬又は火葬の年月日	
改葬の理由	
改葬の場所	
申請者の氏名	●
申請者の住所	●
死亡者との続柄	
墓地使用者との関係	
交付日	

App) 別紙3 帳票詳細要件 (3.2.改葬許可証別紙)

帳票詳細要件 (3. 改葬許可証)

業務	3. 改葬許可証	帳票名称			3.2. 改葬許可証別紙
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"改葬許可証別紙"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	死亡者の本籍 (死産の場合は、父母の本籍)	●			死亡の場合 外国籍の場合は国名を印字する。 死産の場合 父母の本籍が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の本籍+改行+ "母"+全角スペース+母の本籍 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の本籍」 外国籍の場合は国名を印字する。
4	死亡者の住所 (死産の場合は、父母の住所)	●			死亡の場合 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース 死産の場合 父母の住所が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の住所+改行+ "母"+全角スペース+母の住所 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の住所」 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
5	死亡者の氏名 (死産の場合は、父母の氏名)	●			死産の場合 嫡出の場合は二行で印字する。 "父"+全角スペース+父氏名+改行+"母"+全角スペース+母氏名 嫡出でない場合は一行で印字する。 「母氏名」
6	死亡者の性別 (死産の場合は、死児の性別)	●			
7	死亡年月日 (死産の場合は、分べん年月日)	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
8	埋葬又は火葬の場所	●			
9	埋葬又は火葬の年月日	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
10	死亡者との続柄 (死産の場合は、空欄)	●			死産の場合は、空欄とする。

App) 別紙4 帳票レイアウト (3.2.改葬許可証別紙)

改葬許可証別紙

第 000001 号

番号	死亡者の本籍 (死産の場合は、父母の本籍)	死亡者の住所 (死産の場合は、父母の住所)	死亡者の氏名 (死産の場合は、 父母の氏名)	死亡者の性別 (死産の場合は、 死児の性別)	死亡年月日 (死産の場合は、 分べん年月日)	埋葬又は火葬の場所	埋葬又は火葬の 年月日	死亡者との続柄 (死産の場合は、 空欄)
2	東京都大和区本町一丁目10番	東京都大和区本町一丁目10番1号	田中 花子	女	平成30年10月10日	大和霊園	平成30年10月15日	夫
3	東京都大和区本町一丁目10番	東京都大和区本町一丁目10番1号	田中 太郎	男	令和2年2月10日	大和霊園	令和2年2月22日	子
4	父 東京都大和区みどり町二丁目 12番 母 東京都大和区中央一丁目1番	父 東京都大和区みどり町二丁目 12番3号 母 東京都大和区中央一丁目1番 1号	父 鈴木 一郎 母 鈴木 洋子	女	令和4年7月21日	大和霊園	令和4年7月26日	
5	※別紙2枚目以降、 番号を振りなおす							
6								
7								
8								
9								
10								
11								

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1 1

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
10	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 帳票名称「04. 死胎埋葬許可申請書」の連番4のシステム印字項目「父母の住所」について、父母の住所が別の場合と同一の場合のパターン毎に、印字編集条件を設定してはどうか。</p>	<p>【回答】 ご提案の通り、父母の住所が別の場合と、同一の場合で編集条件を追加する。</p> <p>【方針】 「父母の住所」について、(別紙2-1) 機能・帳票要件に父母の住所を分けて記述する。</p> <p>(別紙2-2) 管理項目に父母の住所を分けて記述する。</p> <p>(別紙3) 帳票詳細要件に編集条件を記述する。</p> <p>(別紙4) 帳票レイアウトに父、母の住所の例を記述する。</p>	<p>(別紙2-1) 機能・帳票要件 機能ID：0390061 (実装必須機能) (旧機能ID:0390068) 以下の許可証情報を管理できること。</p> <p>【管理項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死胎埋葬許可管理番号 ・死胎火葬許可管理番号 ・父の本籍 ・母の本籍 ・父の住所 ・母の住所 ・父の氏名 ・母の氏名 ・性別 ・妊娠週数 ・分べん年月日時 ・分べんの場所 ・埋葬の場所 ・火葬の場所 ・申請者の氏名 ・申請者の住所 ・交付日 <p>(別紙2-2) 管理項目 1.3.死胎火葬 1.4.死胎埋葬</p>

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1 2

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
10	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 帳票名称「04. 死胎埋葬許可申請書」の連番4のシステム印字項目「父母の住所」について、父母の住所が別の場合と同一の場合のパターン毎に、印字編集条件を設定してはどうか。</p>	<p>【回答】 ご提案の通り、父母の住所が別の場合と、同一の場合で編集条件を追加する。</p> <p>【方針】 「父母の住所」について、(別紙2-1) 機能・帳票要件に父母の住所を分けて記述する。</p> <p>(別紙2-2) 管理項目に父母の住所を分けて記述する。</p> <p>(別紙3) 帳票詳細要件に編集条件を記述する。</p> <p>(別紙4) 帳票レイアウトに父、母の住所の例を記述する。</p>	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 1.2.死胎火葬許可証 1.4.死胎火葬許可申請書 2.2.死胎埋葬許可証 2.4.死胎埋葬許可申請書</p> <p>(別紙4) 帳票レイアウト 1.2.死胎火葬許可証 1.4.死胎火葬許可申請書 2.2.死胎埋葬許可証 2.4.死胎埋葬許可申請書</p>

App) 別紙3 帳票詳細要件 (2.4.死胎埋葬許可申請書)

帳票詳細要件 (2. 埋葬許可証)

業務	2. 埋葬許可証	帳票名称	2.4. 死胎埋葬許可申請書		
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	発行年月日	●			和暦表記 (年月日)
2	市区町村名	●			市区町村名+"長"
3	市区町村長名	●			氏+全角スペース+名+全角スペース+"宛"
4	タイトル	●			"死胎埋葬許可申請書"
5	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
6	父母の本籍	●			父母の本籍が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の本籍+改行+ "母"+全角スペース+母の本籍 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の本籍」 外国籍の場合は国名を印字する
7	父母の住所	●			父母の住所が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の住所+改行+ "母"+全角スペース+母の住所 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の住所」 方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
8	父母の氏名	●			嫡出の場合 "父"+全角スペース+父氏名+改行+"母"+全角スペース+母氏名 嫡出でない場合 「母氏名」
9	死児の性別	●			
10	妊娠週数	●			全角数字+"週" 推定の場合は"推定"と印字する。
11	分べん年月日時	●			年月日は「和暦表記 (年月日)」とする。 時刻は「午前/午後表記 (午前/午後時分)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
12	分べんの場所	●			
13	埋葬の場所	●			
14	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
15	申請者の氏名	●			

App) 別紙4 帳票レイアウト (2.4.死胎埋葬許可申請書)

令和5年3月1日

東京都大和区長
甲野 義太郎 宛

死胎埋葬許可申請書

第 000001 号

父母の本籍	父 東京都大和区みどり町二丁目12番 母 東京都大和区中央一丁目1番
父母の住所	父 東京都大和区みどり町二丁目12番3号 母 東京都大和区中央一丁目1番1号
父母の氏名	父 許可 一郎 母 許可 洋子
死児の性別	女
妊娠週数	20週
分べん年月日時	令和5年2月9日 午前10時20分
分べんの場所	東京都大和区本町一丁目10番1号
埋葬の場所	区営大和霊園
申請者の住所、氏名	住所 東京都大和区みどり町二丁目12番3号
	氏名 許可 一郎

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1 3

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
1 1	<p>(別紙4) 帳票レイアウト申請書レイアウトについて、市民感情配慮の観点から、市区町村長あての欄の「様」を消し、市区町村長の氏名の前に「宛先」または市区町村長の氏名の後に「あて」としてください。</p>	<p>【回答】 市区町村長の氏名+「宛」に修正する。</p> <p>【方針】 (別紙3) 帳票詳細要件、(別紙4) 帳票レイアウトの市区町村長の氏名+「宛」に修正する。</p>	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 1.3.死体火葬許可申請書 1.4.死胎火葬許可申請書 2.3.死体埋葬許可申請書 2.4.死胎埋葬許可申請書</p> <p>(別紙4) 帳票レイアウト 1.3.死体火葬許可申請書 1.4.死胎火葬許可申請書 2.3.死体埋葬許可申請書 2.4.死胎埋葬許可申請書</p>
1 2	<p>タイトル・様式 「死体火葬許可証」と「死体火葬許可申請書」の書式が似ているため、交付申請書に公印を押して誤発行してしまうことが稀に発生している。文書の文字サイズ(区長名をあえて小さく表示したり、表示位置を変更するなど)やレイアウト(申請書は横版にするなど)を変更し、誰がみても別の文書と分かるようになっていないでしょうか</p>	<p>【回答】 許可申請書のレイアウトを変更する。</p> <p>【方針】 許可申請書の首長名、申請日を上位に移動し、レイアウトを変更する。 (別紙3) 帳票詳細要件、(別紙4) 帳票レイアウトを修正する。</p>	

App) 別紙3 帳票詳細要件 (1.3.死体火葬許可申請書)

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)

業務	1. 火葬許可証	帳票名称	1.3. 死体火葬許可申請書		
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	発行年月日	●			和暦表記 (年月日)
2	市区町村名	●			市区町村長名+"長"
3	市区町村長名	●			氏+全角スペース+名+全角スペース+"宛"
4	タイトル	●			"死体火葬許可申請書"
5	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
6	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名を印字する。
7	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
8	死亡者の氏名	●			
9	死亡者の性別	●			
10	死亡者の出生年月日	●			和暦表記 (年月日) 外国籍の場合は西暦表記 (年月日) 推定の場合は"推定"と印字する。
11	死因	●			
12	死亡年月日時	●			年月日は「和暦表記 (年月日)」とする。 時刻は「午前/午後表記 (午前/午後時分)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
13	死亡の場所	●			
14	火葬の場所	●			
15	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
16	申請者の氏名	●			
17	死亡者との続柄	●			
18	固定文言1	●			" (注) 死因欄中第1条第4号に規定する感染症の際は「一類感染症等」に○印を付すること。" 改行 "そうでないときは「その他」に○印を付すること。"

App) 別紙4 帳票レイアウト (1.3.死体火葬許可申請書)

令和5年3月1日

東京都大和区長
甲野 義太郎 宛

死体火葬許可申請書

第 000001 号

死亡者の本籍	東京都大和区中央一丁目1番	
死亡者の住所	東京都大和区中央一丁目1番16号	
死亡者の氏名	許可 太郎	
死亡者の性別	男	
死亡者の出生年月日	昭和30年5月5日	
死因	「一類感染症等」 <input type="radio"/> 「その他」 <input checked="" type="radio"/>	
死亡年月日時	令和5年2月10日 午前2時30分	
死亡の場所	東京都大和区本町一丁目10番1号	
火葬の場所	大和斎場	
申請者の住所、氏名及び死亡者との続柄	住所	東京都大和区中央一丁目1番16号
	氏名	許可 花子
	死亡者との続柄	妻

(注) 死因欄中第1条第4号に規定する感染症の際は「一類感染症等」に○印を付すること。
そうでないときは「その他」に○印を付すること。

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1 4

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
1 3	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 死体火葬許可証及び死胎火葬許可証の印字項目に「火葬時間」が設定されていますが、これは火葬予定日時と拝察します。 墓地、埋葬等に関する法律施行規則第8条には、火葬場の管理者は、火葬執行後、火葬許可証に火葬の日時を記入し、署名押印して火葬の申請者に返すことが規定されており、当市では火葬場従業員が記入するこの欄をあらかじめ印字しております。規則様式にはありませんが、便宜上この欄を設けていただければありがたいです。</p>	<p>【回答】 死体火葬許可証、死胎火葬許可証の「火葬時間」は、火葬予定日時ではなく、火葬後に火葬場の管理者が使用する項目として設けています。</p> <p>【方針】 (別紙3) 帳票詳細要件の「火葬時間」の表記を「火葬を行った日時」に変更する。</p>	<p>(別紙3) 帳票詳細要件 1.1.死体火葬許可証 1.2.死胎火葬許可証</p>

App) 別紙3 帳票詳細要件 (1.1.死体火葬許可証)

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)

業務	1. 火葬許可証	帳票名称			1. 1. 死体火葬許可証
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死体火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名を印字する。
5	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名	●			
7	死亡者の性別	●			
8	死亡者の出生年月日	●			和暦表記(年月日) 外国籍の場合は西暦表記(年月日) 推定の場合は"推定"と印字する。
9	死因	●			
10	死亡年月日時	●			年月日は「和暦表記(年月日)」とする。 時刻は「午前/午後表記(午前/午後時分)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
11	死亡の場所	●			
12	火葬の場所	●			
13	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
14	申請者の氏名	●			
15	死亡者との続柄	●			
16	交付日	●			和暦表記(年月日)
17	再交付日		●		和暦表記(年月日)
18	市区町村名	●			市区町村名+"長"
19	市区町村長名	●			氏+全角スペース+名
20	公印	●			公印イメージ
21	固定文言1	●			"(注) 死因欄中第1条第4号に規定する感染症の際は「一類感染症等」に○印を付すること。" 改行 "そうでないときは「その他」に○印を付すること。"
22	火葬を行った日時	●			"令和 年 月 日 午前・午後 時 分 火葬"

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1 5

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
1 4	<p>(別紙2-1) 機能・帳票要件 改葬許可証検索要件に「住所」の追加をお願いします。</p> <p>【理由】 「どこであった案件か」という検索方法もあると非常に便利かと思えます。本籍は不詳であることも多いので住所もあると、助かります。</p>	<p>【回答】 改葬許可証内の検索要件に「住所」を追加する。</p> <p>【方針】 (別紙2-1) 機能・帳票要件 死体埋火葬許可証、死胎埋火葬許可証、改葬許可証の検索機能の検索要件に「住所」を追加する。</p> <p>※死胎火葬等許可証と改葬許可証についても、死体火葬等許可証と同様に、分べん年月日時・死亡年月日が不詳の場合には検索結果の最下段に表示されるよう機能を追加する。</p>	<p>(別紙2-1) 機能・帳票要件 0390056 (実装必須機能) (旧機能ID : 0390061) 死体火葬許可証及び死体埋葬許可証について、死亡者氏名、死亡者氏名の振り仮名、生年月日、死亡年月日時、死亡者本籍、死亡者住所での検索ができること。</p> <p>0390058 (実装必須機能) (旧機能ID : 0390063) 機能ID : 0390056での検索結果を一覧で表示できること。</p> <p>※1 死亡年月日時の降順で表示すること。 ※2 死亡年月日時不詳の場合は、最下段に表示すること。 ※3 一覧画面において、死亡者氏名、死亡者氏名の振り仮名、生年月日、死亡年月日時、死亡者本籍、死亡者住所を表示すること。</p> <p>0390064 (実装必須機能) (旧機能ID : 0390072) 死胎火葬許可証及び死胎埋葬許可証について、父の氏名、母の氏名、父の本籍、母の本籍、父の住所、母の住所、分べん年月日時での検索ができること。</p>

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1 6

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
1 4	<p>(別紙2-1) 機能・帳票要件 改葬許可証検索要件に「住所」の追加をお願いします。</p> <p>【理由】 「どこであった案件か」という検索方法もあると非常に便利かと思えます。本籍は不詳であることも多いので住所もあると、助かります。</p>	<p>【回答】 改葬許可証内の検索要件に「住所」を追加する。</p> <p>【方針】 (別紙2-1) 機能・帳票要件 死体埋火葬許可証、死胎埋火葬許可証、改葬許可証の検索機能の検索要件に「住所」を追加する。</p> <p>※死胎火葬等許可証と改葬許可証についても、死体火葬等許可証と同様に、分べん年月日時・死亡年月日が不詳の場合には検索結果の最下段に表示されるよう機能を追加する。</p>	<p>0390066 (実装必須機能) (旧機能ID : 0390074) 機能ID : 0390064での検索結果を一覧で表示できること。</p> <p>※1 分べん年月日時の降順で表示すること。 ※2 分べん年月日時不詳の場合は、最下段に表示すること。 ※3 一覧画面において、父の氏名、母の氏名、父の本籍、母の本籍、父の住所、母の住所、分べん年月日時を表示すること。</p> <p>0390074 (標準オプション機能) (旧機能ID : 0390082) 改葬許可証について、死亡者氏名、死亡年月日、死亡者本籍、死亡者住所での検索ができること。</p> <p>0390076 (標準オプション機能) (旧機能ID : 0390084) 機能ID : 0390074での検索結果を一覧で表示できること。</p> <p>※1 死亡年月日の降順で表示すること。 ※2 死亡年月日不詳の場合は、最下段に表示すること。 ※3 一覧画面において、死亡者氏名、死亡年月日、死亡者本籍、死亡者住所を表示すること。</p>

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 17

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
15	別紙(2-1)エラー処理(機能ID: 0390003) 身元不明者など情報を取り込めない場合があるので、任意での入力及び修正が可能であるべきと考えます。	【回答】 任意入力できる要件を追加します。 【方針】 (別紙2-1)機能・帳票要件に任意入力できる要件を新規追加する。	(別紙2-1)機能・帳票要件 0390017(実装必須機能) 許可証への任意入力ができること。 ※1 マスタ管理項目のうち「火葬場所」「埋葬場所」「死亡者との続柄」についても任意入力ができること。

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 1 8

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
1 6	本編 第6章用語 デジタル・ガバメント【でじたる・がばなんと】となっている。	【回答】 誤植のため修正する。 【方針】 デジタル・ガバメント【でじたる・がばめんと】に修正する。	本編 第6章用語

App) 本編 第6章 用語

て

デジタル・ガバメント【でじたる・がばめんと】……情報通信技術を行政のあらゆる分野に徹底活用することにより、市民や企業の事務負担の軽減や利便性の向上、行政事務の簡素化・合理化などを図り、効率的・効果的な電子政府・電子自治体を実現している状態のこと。

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 19

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
17	本編「表3-12 システム印字項目の編集方法」で、「選択された選択肢の上に○を印字」と規定されていますが、（別紙4）帳票レイアウトでは、死因の前に「○」が印字されており、整合性が取れていないのではないのでしょうか。	<p>【回答】 本編の記載を修正する。</p> <p>【方針】 本編 表3-12 「選択された選択肢の上に○を印字」を「選択された選択肢の前に○を印字」に変更する。</p>	本編 表3-12

App) 本編 (表3-12)

表3-12 システム印字項目の編集方法

システム印字項目の種類	編集条件などへの記載事項	表記の例	補足
日付	和暦表記 /西暦表記	<和暦表記> 令和3年4月1日 <西暦表記> 2021年4月1日	原則和暦表記とする。ただし、外国人の生年月日は西暦表記とする。帳票要件で定義する一覧帳票等で用途に応じて短縮表記とする。 和暦表記時は「(元号)1年」ではなく「(元号)元年」とする。 また、例えば“から”、“まで”等の日付以外の関連する文字は、帳票レイアウト側での埋め込み(プログラムから印字しないこと)として編集条件等には未記載としている。
時間	0から11の全角数字		0から11の全角数字
住所	住所	〇〇県△△市□丁目 ▽番	
死因選択	選択された選択肢の前に○を印字		選択された選択肢の前に○を印字することとした。
死因以外の選択肢	打ち出し形式 (例) 男		選択肢のいずれかの文字を印字することとした。

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 20

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
18	(別紙4) 帳票レイアウトの「改葬許可証」のみ、「死亡年月日」等の算用数字が半角で印字されているので、他帳票同様に全角で統一すべきではないでしょうか。	【回答】 算用数字は、全角で統一する。 【方針】 (別紙4) 帳票レイアウトを修正する。	(別紙4) 帳票レイアウト 1.1.死体火葬許可証 1.3.死体火葬許可申請書 2.1.死体埋葬許可証 2.3.死体埋葬許可申請書 3.1.改葬許可証

App) 別紙4 帳票レイアウト (1.1.死体火葬許可証)

第 000001 号		死体火葬許可証		※再交付の場合のみ印字	再交付
死亡者の本籍	東京都大和区中央一丁目1番				
死亡者の住所	東京都大和区中央一丁目1番16号				
死亡者の氏名	許可 太郎				
死亡者の性別	男				
死亡者の出生年月日	昭和30年5月5日				
死因	「一類感染症等」 <input type="radio"/> 「その他」 <input type="radio"/>				
死亡年月日時	令和5年2月10日 午前2時30分				
死亡の場所	東京都大和区本町一丁目10番1号				
火葬の場所	大和斎場				
申請者の住所、氏名及び死亡者との続柄	住所	東京都大和区中央一丁目1番16号			
	氏名	許可 花子			
	死亡者との続柄	妻			
交付日：令和5年3月1日 再交付日：令和5年3月5日	※再交付の場合のみ印字	東京都大和区長 甲野 義太郎			印
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> (注) 死因欄中第1条第4号に規定する感染症の際は「一類感染症等」に○印を付すること。 そうでないときは「その他」に○印を付すること。 </div>					
令和 年 月 日 午前・午後 時 分 火葬					

App) 別紙4 帳票レイアウト (3.1.改葬許可証)

改葬許可証		※再交付の 場合のみ印	再交付
第 000001 号			
死亡者の本籍 (死産の場合は、父母の本籍)	東京都大和区中央一丁目1番		
死亡者の住所 (死産の場合は、父母の住所)	東京都大和区中央一丁目1番16号		
死亡者の氏名 (死産の場合は、父母の氏名)	許可 太郎		
死亡者の性別 (死産の場合は、死児の性別)	男		
死亡年月日 (死産の場合は、分べん年月日)	昭和45年3月10日		
埋葬又は火葬の場所	大和斎場 東京都大和区寺町一丁目1番地		
埋葬又は火葬の年月日	昭和45年5月1日		
改葬の理由	墓地新設のため		
改葬の場所	大和区新浜霊堂 東京都大和区新浜12番地1		
申請者の住所、氏名、死亡者との 続柄及び墓地使用者等 との関係 (死産の場合は、申請者の住所、 氏名及び墓地使用者等 との関係)	住所	東京都大和区中央一丁目1番16号	
	氏名	許可 花子	
	死亡者との続柄 (死産の場合は、 空欄)	妻	
	墓地使用者 等との関係	本人	
交付日：令和5年3月1日 再交付日：令和5年3月2日	※再交付の 場合のみ印字	東京都大和区長	甲野 義太郎
			印

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 2 1

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
19	<p>(別紙2-1) 機能・帳票要件 旧機能ID : 0390076の「機能要件」欄の※1と※2の記載内容が同一の内容になっています。</p>	<p>【回答】 旧機能ID : 0390076の※2を削除する。</p> <p>【方針】 (別紙2-1) 旧機能ID : 0390076の「※2 許可証が発行済みの場合、発行済みであることが判別できる許可証のプレビューを表示。」を削除する。</p> <p>※併せて、旧機能ID : 0390075と0390076を統合し、機能ID : 0390067とする。</p>	<p>(別紙2-1) 機能・帳票要件 (旧機能ID : 0390076) (実装必須機能) 機能ID : 0390072での検索結果について1件ずつの詳細表示ができること。</p> <p>※1 許可証が発行済みの場合、発行済みであることが判別できる許可証のプレビューを表示。 ※2 許可証が発行済みの場合、発行済みであることが判別できる許可証のプレビューを表示。</p> <p>0390067 (実装必須機能) (旧機能ID : 0390075) 機能ID : 0390064での検索結果について1件ずつの詳細表示ができること。</p> <p>※1 許可証が未発行の場合、許可証のプレビューを表示。 ※2 許可証が発行済みの場合、発行済みであることが判別できる許可証のプレビューを表示。</p>

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 2 2

No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
20	(別紙1) 業務フローp2 2ページ目には「区分」「大分類」「小分類」の表記だが、それ以外では「区分」「大項目」「小項目」をなっているため、統一すべきと考えます。	【回答】 「大分類」「小分類」を「大項目」「小項目」に統一する。 【方針】 (別紙1) 業務フロー一覧のタイトルを「大項目」「小項目」に修正する。	(別紙1) 業務フロー 業務フロー一覧

App) 別紙1 業務フロー (p2 業務フロー一覧)

業務フロー一覧

区分	大項目	小項目	頁番号
火葬等許可事務	1. 一般	1. 1. 死体火葬許可証、死体埋葬許可証作成・印刷	3
		1. 2. 死胎火葬許可証、死胎埋葬許可証作成・印刷	4
		1. 3. 改葬許可証作成・印刷	5
		1. 4. 火葬等許可証再交付	6

全国意見照会に対する意見と回答の報告- 2 3

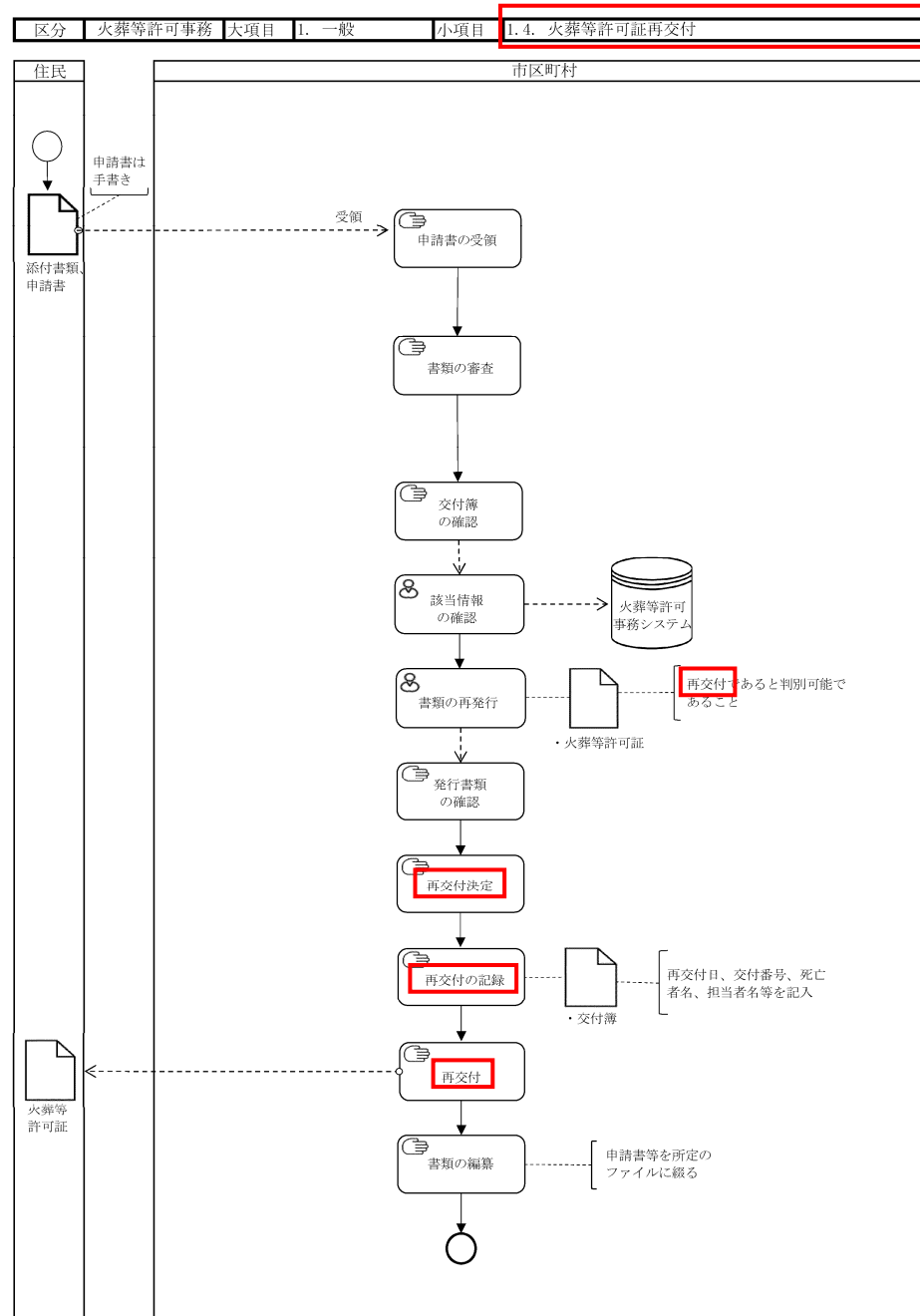
No.	意見の内容	回答及び方針	標準仕様書案
2 1	<p>(別紙1) 業務フローp2,6 他の資料中には「再発行」の表記はなく、「再交付」という表記である。原則、「再交付」に統一すべきと考えます。(ただし、文章上の都合で「再発行」の表記が望ましい場合は除く。)</p>	<p>【回答】 P6 タスク (システム操作) 「書類の再発行」を除いて「再交付」で統一する。</p> <p>【方針】 (別紙1) 業務フロー一覧及び1.4. 火葬等許可証再交付のフローを修正する。</p>	<p>(別紙1) 業務フロー 業務フロー一覧 1.4. 火葬等許可証再交付</p>

App) 別紙1 業務フロー（業務フロー一覧）

業務フロー一覧

区分	大項目	小項目	頁番号
火葬等許可事務	1. 一般	1. 1. 死体火葬許可証、死体埋葬許可証作成・印刷	3
		1. 2. 死胎火葬許可証、死胎埋葬許可証作成・印刷	4
		1. 3. 改葬許可証作成・印刷	5
		1. 4. 火葬等許可証再交付	6

App) 別紙1 業務フロー (1.4. 火葬等許可証再交付)



その他、標準仕様書の修正- 1

No.	方針	標準仕様書案
1	<p>他システムとのデータ連携において、戸籍情報を参照する連携は、連携については引き続き法務省と調整中であることから、標準仕様書上記載することは見送る。</p> <p>本編から戸籍情報参照と戸籍情報参照の検索を削除する。</p> <p>(別紙2-1) 機能ID : 390001、0390023、0390024、0390027、0390028、0390029を削除する。</p>	<p>本編 図3-3</p> <p>(別紙2-1)機能・帳票要件 機能ID : 0390001 (標準オプション機能) →削除 死体火葬等許可証作成時、戸籍情報システムから戸籍情報を取得できること。</p> <p>※1 共通基盤等との連携を含む ※2 データの参照、取り込みは問わず、火葬等許可事務システムで利用できること ※3 連携頻度は随時 ※4 取り込んだデータは修正できること。</p> <p>機能ID : 0390023 (標準オプション機能) →削除 許可証に記載する、死亡者及び申請者情報について、氏名の振り仮名、漢字氏名、生年月日、本籍で戸籍検索できること。</p> <p>機能ID : 0390024 (標準オプション機能) →削除 機能ID : 0390023について、検索条件の解除が可能であること。</p>

その他、標準仕様書の修正- 2

No.	方針	標準仕様書案
1	<p>他システムとのデータ連携において、戸籍情報を参照する連携は、連携については引き続き法務省と調整中であることから、標準仕様書上記載することは見送る。</p> <p>本編から戸籍情報参照と戸籍情報参照の検索を削除する。 (別紙2-1) 機能ID : 390001、0390023、0390024、0390027、0390028、0390029を削除する。</p>	<p>機能ID : 0390027 (標準オプション機能) →削除 機能ID : 0390023での検索結果を一覧で表示できること。</p> <p>※1 一覧画面において、本籍筆頭者氏名、本人氏名、生年月日、消除日、構成員を表示すること。</p> <p>機能ID : 0390028 (標準オプション機能) →削除 機能ID : 0390023での検索結果について、構成員一覧を表示できること。</p> <p>機能ID : 0390029 (標準オプション機能) →削除 機能ID : 0390028の構成員一覧から各構成員の詳細情報を表示できること。</p>

App) 本編 (図3-3)

本編 図3-3 基幹系他システムとの連携イメージ

